

NEWS LETTER



2007年3月27日

VOL.41

NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL: 03-3615-5569
FAX: 03-3615-5581
E-mail: sontokyo@gol.com
<http://www.son-tokyo.or.jp>

Update
登録アスリート数 881名
正会員数 914名
(2007年2月28日現在)

2007年度定期総会開催



3月3日(土)
午後、東京YMCA東陽町センター視聴覚室において、NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京の2007年度定期総会を開催しました。

最初に、この

1年間にご寄付・ご協賛をいただいた企業・団体に感謝状の贈呈を行い、引き続き2007年度定期総会を開催。池田朝彦理事長のあいさつ、役員紹介などの後、審議に入りました。

2006年の事業報告及び収支計算書、2007年事業方針・計画及び収支予算書が活発な質疑応答の後、承認されました。今年度は、財政基盤の充実・安全性の確保・組織機能の活性化にとくに重点をおいて取り組んでまいります。

2007年度 新任理事・監事のご紹介

(敬称略)

<新任理事>

田口 弘明 SON東京 管理本部長
日野 君子 日本自閉症協会東京都支部 副支部長
柳下久米夫 東京税理士会 常務理事・税務審議部長
湯浅 泉 SON東京 バスケットボール競技委員長・
スポーツプログラム委員

<新任監事>

吉崎 勇 SON東京 顧問・前副理事長

<任期満了理事>

岡村祐則、鴨下令子、近藤昭彦、瀬古利彦、田川正一

<任期満了監事>

石田富男
SON東京の役員としてご尽力をたまわり、心より感謝いたします。



チャリティーコンサートに、 皇太子殿下ご臨席



1月15日、紀尾井ホールで行われたスペシャルオリンピックス支援のための「今井信子・伊藤恵デュオ・コンサート」に、皇太子殿下がご臨席になりました。

主催は、合唱プログラムの方たちを中心に、幅広いメンバーが集まった「今井信子チャリティーコンサート実行委員会」。当日は、満員の聴衆にヴィオラとピアノのすばらしい調べが届きました。なお、収益はSON東京にご寄付いただきました。

(photo by 長澤直子)

2007年SO夏季世界大会・上海 選手団決定!!

さる3月22日、上海世界大会派遣SO日本選手団の発表がありました。SON東京選出のメンバーは下記の通り、アスリート18名(補欠3名含む)、コーチ3名です。これから約半年間、本番に向けて精一杯練習に励みます。盛大な応援をお願いします。

【SON東京選出選手団名簿】

<ボウリング>アスリート：鍵形 愛子、平田 雅子 コーチ：川島 敦子 補欠アスリート：杉山 翔

<バスケットボール>アスリート：岡村 祐則、工藤 良太、熊谷 武広、瀬田 大伸、高田 一哉、野村 太一、秦 宏行、松崎 康隆 コーチ：竹内 稔

<水泳>補欠アスリート：五味 逸太郎

<体操競技>アスリート：松田 元明、森田 趟人、河野 杏奈、補欠アスリート：榎戸 美貴 コーチ：渡辺 慶子

<卓球>アスリート：小平 育子

<テニス>アスリート：松谷 太郎

【大会概要】

- 名称：2007年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・上海
- 期間：2007年10月2日(火)～11日(木)
- 開催地：中華人民共和国 上海市
- 参加者数：アスリート169カ国・地域より7,000人以上、ボランティア40,000人、競技役員3,500人
- 大会テーマ：『I KNOW I CAN』

※SON東京では、世界大会応援ツアーの開催を計画しています。詳細につきましては、同封のご案内を参照ください。

詳しい情報は、SON東京ホームページ(<http://www.son-tokyo.or.jp>)をご覧ください。

「ファミリー委員会」って知っていますか？

Q 1. ファミリー委員会はどんな活動を行っているのですか？

A ファミリー委員会では、その時々の問題について話し合いを行い前向きな議論を行っています。その中で改善に向けた提案や、自己啓発のあり方についての取りまとめを行い、ファミリーの参加意識の向上をめざしています。

Q 2. 具体的にどんな活動をされていますか？

A 昨年度の活動は、安全意識について話し合いを行いました。まず、自分の子どもがプログラム中にけがをした場合、「ファミリーとしてどうして欲しいのか」そこから話し合いをスタートしています。いろいろな意見がありました。「コーチは救急の指導を受けているから任せておけばいい」という意見があったのですが、実態を調査するとその事実はないわけで、ファミリーはSON東京というネームで安心感を抱いていることがわかります。話し合いによって、本当の安心感はみんなで作るものだという雰囲気ができ、安全マニュアルの基本をまとめることができました。

また、ファミリーガイダンスについてとりまとめを行いました。私が始めてSOに参加したとき、ファミリーとしてどうしたらいいのか、どのように関わったらいいのか全くわからませんでした。その経験から、委員会でファミリーの先輩方々にSOについていろいろお聞きしているうちに、ファミリーの先輩の思いを若いファミリーの方々にもっと知ってもらいたい。また、ファミリーのマナーとして心得ていなければならないことをもっと知つてもらいたいと考え、ファミリーガイダンスに取りまとめを行いました。

2007年度 活動および事業計画

委員会名 ファミリー委員会

活動目標 ①プログラム内のモラル向上に向けた取り組み
②安全管理の徹底
③ファミリーの意識改革

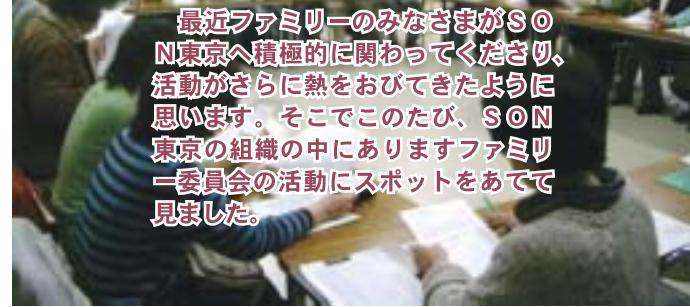
活動内容 ①ファミリー委員が中心となって、コーチ・ファミリー・アスリートのモラル向上について話し合う
②ファミリーの目でアスリート・コーチの安全を確保するための方法を話し合う
③色々な意見を聞き、話し合い、ファミリーの基礎であるガイダンスをブラッシュアップする

活動計画 ①モラル向上計画書の作成
②安全管理マニュアル推進
③ファミリーガイダンスの運用

委員長 島田文人

副委員長 長谷川豊 前原 聰

◆島田ファミリー委員長に聞く



最近ファミリーのみなさまがSO N東京へ積極的に関わってくださり、活動がさらに熱をおびてきたように思います。そこでこのたび、SON東京の組織の中にはありますファミリー委員会の活動にスポットをあてて見ました。

Q 3. 今年はどんな活動を予定されていますか？

A 今年はSOのルールをみんなで勉強しながら、ファミリーとして守るべきマナーについて話し合いを持ちたいと思っています。ファミリーが合宿中にビールを差し入れてしまったり、ファミリーがプログラム中に喫煙してしまったり、コーチがSOのルールに則って活動されている中で、ファミリーも守らなければならないマナーを理解する必要があると思っています。それらをファミリーで話し合っていきたいと思っています。

Q 4. 参加資格はどのようにになっているのですか？

A ファミリー委員会は、各プログラムの代表者がベースとなっていますが、参加は自由となっています。聞いてほしい問題点やファミリーにお知らせしたいこと、ファミリーの意見を聞きたいことなどを自由に持ち寄って前向きに議論を行っていますので、ぜひ一度参加してみてください。

Q 5. ファミリー委員長からファミリーに期待することは？

A 現在SON東京への参加アスリートは800人を越えています。それを考えるとファミリーは、たぶん1000人を越えているのではないかでしょうか。ファミリーの意識が前向きに動けば、SON東京は、さらに前向きに加速します。みんなでさらにすばらしいSON東京にしていきましょう。

第4回ウォーク＆ランフェスティバルにご協力いただきました。

Goldman Sachs

ゴールドマン・サックス

Deutsche Bank Group

ドイツ銀行グループ



UBS

UBSグループ

ファミリーガイダンス（抜粋）

■ファミリーの心得

- ①スペシャルオリンピックスが開催するゼネラルオリエンテーションに参加しましょう。
- ②アスリートのプログラム参加責任は、ファミリー（自立している場合はアスリート）にあります。体調など十分に気をつけて参加させましょう。
- ③ファミリーは、アスリートが参加している様子を定期的に確認し、自立に向け適正に導くようにしましょう。
- ④ファミリーがプログラムに参加する場合、アスリートの自立のため自らの子どもから少し離れて参加するようにしましょう。
- ⑤ボランティアの方々は、ボランティア活動として参加されていますので「謝礼」についてはご遠慮ください。
- ⑥お世話になっているからお手伝いしますという意識からさらに、自らを成長させるためのボランティアとして参加することをお勧めします。
- ⑦コーチへの不満等をアスリートの前で話すのはやめましょう。ご不満な点は、直接主任コーチへ伝えるか、ファミリー委員会へ相談してください。
(アスリートからコーチへ不満が伝わりコーチがショックを受けられたことがあります)

■ファミリーの役割

- ①参加時に健康状態をコーチへ適切に伝えましょう。
- ②アスリートの障害について留意点がある場合、事前に主任コーチへ伝えましょう。
- ③ファミリー委員会への参加をお願いします。（月一回ファミリーの意見交換及び会への要望・改善を話し合う会です。）
ファミリーの参加は自由ですので、積極的な参加をお願いします。
原則：第二土曜日18:00～20:00 YMCA会議室。詳細は委員長まで気軽に連絡ください。

■会費について

スペシャルオリンピックスでは、アスリートがプログラムへ参加するための会費を必要としていません。しかし、ファミリー委員会では、会の運営を盛り上げて行くために多くの方々に会員になっていただきたいと考えています。ぜひファミリーの方々は正会員として参加いただけますようよろしくお願いいたします。

■緊急時の対応方法について

各プログラムへ配布されている「安全管理マニュアル」にしたがって行動をお願いします。（必ず一読お願いします）

安全管理マニュアル（抜粋）

1. 安全を確保するためには

- ①プログラム運営方法や緊急事態への対応方法についての周知徹底
- ②アスリートについての理解（障がいの特性、当日の健康状態）
- ③プログラム中におきた「ヒヤリ・ハット」についてプログラム内、事務局、各委員会での検討

2. プログラム運営のための事前準備

- ①救急箱及び応急処置用品の準備
- ②救急車を呼ぶための手順書
- ③プログラム会場近隣及びプログラム会場（施設）を利用している病院情報
(所在地／電話番号／診療科／休日・時間外診療、急患の受け入れ体制)
- ④災害時の避難経路、避難場所の確認
- ⑤SON東京緊急連絡先
- ⑥プログラム用安全管理マニュアルフォルダー

3. プログラム運営中の安全管理について

(1) アスリート手帳の活用

- ①プログラムに参加するにあたっての留意点の記入
 - ②緊急時の連絡先の記入
 - ③主治医の連絡先の記入
- #### (2) プログラムの受付
- ①受付業務はできるかぎりファミリーが中心となって実施する。
 - ②プログラム当日の受付では、ファミリーはアスリートの自立に向けた指導をする。
 - ③アスリートはその日の状況により気分が違うことがあるので、コーチがいつものように接することができないとか、少し気にかけてほしいときには、ファミリーが受付表にその旨を記載する。
 - ④受付で入手した情報は必ずプログラム開始前にコーチへ伝達する。

- ⑤コーチは、特別な対処が必要とファミリーが指摘している場合、そのファミリーと相談しプログラムを実施する。その他の場合は、その情報を気に留めて、普段どおりのプログラムを実施する。
- ⑥プログラム中はアスリート手帳を分かりやすい場所で管理する。

(3) プログラム運営中の注意点（C/F）

- ①コーチは、受付担当者からアスリートの情報の聞き取りを行なう。
- ②コーチは会場内の危険箇所をチェックする。
危険箇所については速やかに対処する。対処できない箇所については、プログラム開始前に、アスリート/コーチ/ファミリーに知らせ危険を回避するよう周知徹底する。
- ③地震や火災などの災害が発生時は、速やかにコーチ/ファミリーが誘導避難する。
- ④コーチはアスリートの安全を考慮してプログラムを実施する。
- ⑤コーチは、休憩と水分補給に注意を払う。（目安として40分に一回の休憩）
- ⑥ファミリーは、自らの子どもだけでなく、アスリート全員の状態を常に気に留める。
- ⑦プログラムをアスリートが脱出した場合、速やかにアスリートとコンタクトをとり、プログラムへ戻す。
- ⑧ファミリーがアスリートに休憩が必要と判断した場合は、休憩を取らせる。

(4) 緊急時の対応

- ①事故の対処
- ②救急車の手配
- ③病院の手配
- ④関係第三者の氏名と連絡先・方法の確認

(5) 緊急時の後処理

- ①他のアスリートのケア
- ②プログラムの解散の宣言と撤収作業
- ③状況に応じて現場検証の立ち会い
- ④その他プログラムの後処理

「ファミリーガイダンス」「安全管理マニュアル」をご入用の方は、事務局にご連絡ください。

ユニクロ銀座店でショッピング体験



日頃からSO活動にご支援いただいている（株）ユニクロの企画で2月16日（金）、ユニクロ銀座店における「ショッピング体験プログラム」が開催され、SON東京のアスリート5人が参加しました。今回は、アスリート自身による買物体験と、ユニクロ店員の方の接客研修も兼ねたお試し企画。アスリートたちは店員さんとともに、似合う服や小物を選び試着するなどし、最後には会計まで自分たちで行いました。アスリートの意外な面（好きな色など）を知って驚かれたファミリーもいて、参加者全員にとって非常に貴重な体験ができた企画でした。

写真提供：SON





スペシャルオリンピックス陸上
多摩会場に参加して
アスリート：内田 将大

僕は、スペシャル
オリンピックスの、
陸上とバスケットボ
ールとボウリングとダン
スを行っています。走るのは大
変だけど、陸上は外でやるのでとても気持ち
がよいです。これからもスペシャルを頑
張ります。

ファミリーとして・コーチとして
ファミリー＆コーチ：内田 和明

将大は、生を授かると共に、ダウン症と診
断されました。心室中隔欠損症もありまし
たが、手術後は経過も良好で、今では医師か
らの運動制限もなく元気に過ごしており、
現在は、田無養護学校 高等部 1年に在学
中です。スペシャルオリンピックスとの出
会いは、陸上の多摩会場からで、参加するよ
うになって5年になります。

VOL.7



真夏と真冬を除き、毎週土曜日
の9時30分から府中陸上競技場
でプログラムが開催されています。
私も、日頃の運動不足を少しだけ解消出来ればと思い、息子と一緒に参加しています。
プログラムは、まず準備体操、そしてお決まりの競技場トラックのジョギングで、1周300mをジュニアは5周、シニアは7~10周を走ります。将大は16歳

ですが、障害から体は小さいので、

ジュニア5周チームに入っています。
参加当初は途中歩いたり完走も難しかったの
ですが、今は遅いながらも自分のペースで
途中で決して歩くこともなく、難なく完走
しています。

私は40代後半ですので、さすがにシニア
チームには付いていけず、他のファミリー
と一緒にジュニアチームとともに走ってい
ますが、1.5kmを走ると息切れし、毎回、何で
こんな辛いことを、アスリートは楽しんで
走れるのだろうと感心しています。

ジョギングの後は、トラックのコーナー
からスタートするダッシュ、フィールドでの
フットワーク等を行い、最後の締めくくりは100m走です。参加当初の将大は30秒
を越えていたのですが、もうすぐ20秒を切

れる位の記録が出せるようになりました。
本当に“継続は力なり”を痛感します。

陸上 多摩会場の大きな特徴は、安田主任
コーチを中心に、競技経験の有無に関係な
く参加していただいているボランティアの
方々、それからファミリーの積極的な参加
です。ファミリーの役割は、アスリートと
ともに走るだけではなく、アスリートへの応
援も欠かせません。毎年11月23日に開催さ
れるウォーク＆ランフェスティバルでの、
宣言タイムレースでの優勝を目指し、皆で
トレーニングに励んでいます。

昨年9月のコーチクリニックには、ボラ
ンティア、私も含めファミリーも数多く出
席し、約10名の認定コーチが多摩会場から
生まれました。私自身、陸上の競技経験がと
くにあったわけではないため、安田主任コ
ーチの補佐としてアスリートケアが主な役
割でしたが、認定コーチの取得に伴い、今後
は安田主任コーチの指示を仰いで、積極的
にアスリートに対する指導も行っていきた
いと考えています。

アスリート、コーチ、ファミリーのトライ
アングルが、益々大きくなっています。是
非、ファミリーの皆さんも、いろいろなスペ
シャルオリンピックスのプログラムでアス
リートと共に積極的に活動しませんか？

1

これからのイベント

2007年

- 5月 12(土),13日(日) 第28回関東プレーンズSO大会
- 5月 20日(日) 第2回フロアホッケー競技会
- 5月 26日(土),27日(日) 東京都障害者スポーツ大会
- 7月 27日(金)~29日(日) スペシャルオリンピックス日本・関東ブロック
バスケットボール競技会

法人・団体・個人会員募集中

SON東京の活動は、法人・団体および個人の会費・寄付、な
らびにチャリティ事業などによってまかなわれています。
何卒多くの皆様のご支援をお願い申し上げます。

●正会員 入会金 5,000円・年会費 5,000円

●準会員 寄付 年額(1口) 3,000円以上

郵便振込口座: 00140-1-723232

※法人団体会員については、事務局までお問い合わせ下さい。

●事務局からのお知らせ

転勤・転居等で住所変更のあった方は、事務局へお知らせください。

訃報

監事の石田富男さんが2月3日に、ファミリーの勝又陽子
さんが2月28日にお亡くなりになりました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

いいものだけを世界から

YANASE

スペシャルオリンピックスを応援いたします。

good newdays

人間らしい美しい未来を

ヤナセ

株式会社ヤナセ
〒105-8575 東京都港区芝浦4-6-38
TEL.(03)3452-4311(大代表)

www.yanase.co.jp

NEWS LETTER vol.41

発行元：NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
発行日：2007年3月27日

発行人：池田 朝彦
編集：SON東京広報委員会